



鯨川村立鯨川小学校
学校通信
令和7年5月2日(金)
No.2

晴れて 1年生もみんなの仲間入り 【なかよし遠足】【縦割り清掃】

入学から早いもので1ヶ月が経ちます。1年生も学校生活に慣れ、元気に活動しています。先週の金曜日には、「なかよし遠足」を実施しました。この「なかよし遠足」は、「1年生を迎える会」を兼ねています。1年生と上級生が仲良くなること、班のみんなで協力することの大切さを知ること、鯨川村の素晴らしい自然とふれあうことなど、様々な学びが詰まった行事です。

6年生が中心となって班のみんなが楽しめる遊びを企画し、現地では、「おにごっこ」や「だるまさんが転んだ」など、楽しく仲良く遊ぶことができました。班のみんなでオリエンテーリング的なゲームをしたり、一緒にお弁当を食べたりと、一緒に行う活動を通してとてもなかよく過ごしていました。

今週から、縦割り清掃にも1年生が参加しています。慣れないそうきんがけも、6年生の班長さんが丁寧にやり方を教えている姿に、最上級生としての頼もしさを感じました。

余談ですが・・・「だるまさんが転んだ」の遊び方が、鯨川はちょっと他の地域と違っていたので、びっくり。鯨川バージョンは、動いた人は元の位置に戻るのですね。私の育った「いわきバージョン」は、鬼につかまって手をつないでいきます。ところ変われば・・・ですね。



5月の主な行事



5月 1日(木) ふくしま学力調査(4～6年)
3日(土) 憲法記念日
4日(日) みどりの日
5日(月) こどもの日
6日(火) 振替休日
7日(水) 知能検査(1・3・5年)
11日(日) PTA奉仕作業

14日(水) クラブ活動
17日(土) 春季大運動会
19日(月) 振替休業日
20日(火) 内科検診(上学年)
22日(木) 鼓笛パレード
23日(金) 芸術鑑賞教室
26～30日 家庭訪問

ゴールデンウィーク！ 難問に挑戦(全学年 対象問題)

前回の正解者が少なかったので、ゴールデンウィークに合わせて「難問に挑戦」を出していきますよ。今回は頭を柔らかく考えればきっと解けるとおもいます。ぜひ、家族一緒に考えてみてください。提出の仕方は今まで通りです。

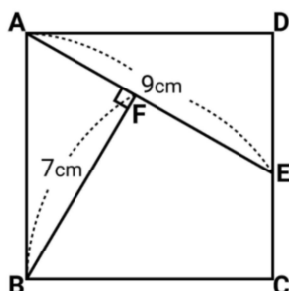
●今回は、答えや計算のみでは正解としません。どのように解いたのかを図や言葉で説明して下さい。

●お家の方が考えるのはOKですが、解答用紙に記入するのは児童にさせて下さい。

提出期日は 来週金曜日(5月9日)とします。

提出先は校長です。校長室に直接持ってきて下さい。

では問題！



四角形ABCDは正方形です。
この正方形の面積は何 cm^2 でしょうか。

前回の問題

子どもにあめを配ろうと思います。
一人に2こずつ配ると、5こ あります。
一人に3こずつ配ると、5こ たりません。

問1 子どもは何人いますか？

問2 あめは何こありますか？

正解者

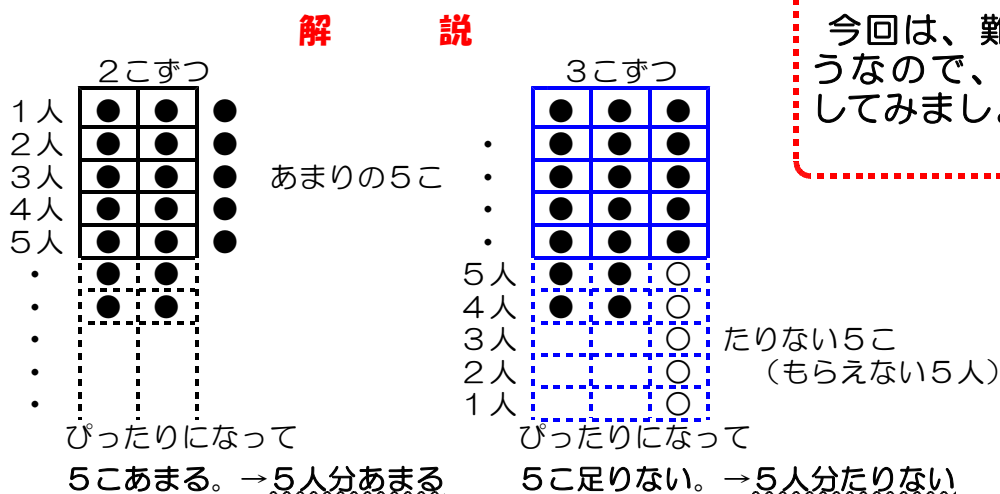
2年	坂本	千夏	さん
5年	関根	峻	さん
6年	常盤	悠希	さん
6年	関根	優奈	さん

正解者は今回4名！

今回の問題は難しかったかな。

みんなチャレンジありがとう。

今回は、難しかったようなので、詳しく解説してみましょう。



つまり、2こずつ配ったときのあまりの5こ分の人数が5人

(言い換えれば、3こもらえちゃうラッキーな人が5人)

3こずつ配ったときに足りない5こ分の人数は5人

(言い換えれば、2個しかもらえないかわいそうな人は5人)

なので、ラッキーな5人と、かわいそうな5人をあわせた人数が全体の人数ってこと。

$5 + 5 = 10$ 答え 10人 $10 \times 2 + 5 = 25$ 答え 25こ

どしどしチャレンジお待ちしております。連休中に考えてみてね。

コラム お子様の学力に関する連携について一緒に考えてみましょう。

先日、全国学力学習状況調査（6年生）・ふくしま学力調査（4・5・6年）を実施しました。結果はまだ先ですが、昨年の学習状況調査の結果から、鯉川小学校は、家庭での学習時間（平日・休日等）が全体的に少ないことが分かりました。鯉川小学校と福島県や全国と比較してみると、約1時間程度の開きがあります。もちろん学習塾の学習時間も入っていますので、一様に比べることはナンセンスです。

では、長い時間、家でも学習したら学力は高くなるのかと言え、そうではありません。しかし、鯉川小学校の実態として、ひとり一人の家での学習時間と学力の相関関係を見てみたところ、テストの正答率と家での学習時間には関係が見られました。1時間未満の学習時間の児童は、正答率がかなり低い結果でした。

何より大切なのは、「学校での学習を充実させること」。これがまず第一です。学校でも先生方一丸となって取り組んでまいります。その上で、「家庭学習の質の向上」も図っていく必要があると言えます。「長くやったからよい」ではなく、子ども達ひとり一人が、自分の苦手を自分で克服するような力や、その学習の仕方を身に付ける必要があります。これは、学校でも宿題の出し方を考えていかなければなりません。そして、宿題の取り組みせ方については、保護者の皆様の協力も不可欠です。子ども達の夢を広げるためにも、一緒に考えていければと思います。